



図書館員が選ぶ この一冊

11

『いま、会いにゆきます』

市川拓司/著

小学館

高校時代の同級生^{たくみ}巧と^{みお}漣は結婚し、やがて息子^{ゆうじ}佑司が生まれる。ところが5年後、「雨の季節

になったら戻ってくるから」という言葉を残して亡くなってしまふ漣。巧は悲しみの中、不器用ながらも、幼い佑司と懸命に生きていた。

すると、1年後の雨の日に、約束通り二人の前に漣が現れるのだが…



映画やドラマでも有名になった作品である。タイトルは、物語の不思議な世界を表すのに十分な役割を果たす。巧と佑司、そして漣が戻ってからの3人の生活は優しい時の流れに包まれ、ずっと続いてほしいと願わずにはいられない。雨の季節に読みたい、切なくて愛情深い物語である。